

福祉サービス第三者評価結果報告書(平成28年度)

2016年 12月 28日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 202-0021

所在地 東京都西東京市東伏見3-5-36-101

評価機関名 有限会社 TCP

認証評価機関番号

機構 06 - 166

電話番号 042-452-8021

代表者氏名 鈴木 純平

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	加藤 正樹	福祉	H0601051
	②	田中 康夫	福祉	H0202003
	③	鈴木 純平	経営	H0701017
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	港区保育室			
評価対象事業所名称	港区愛宕保育室			
事業所連絡先	〒	105-0002		
	所在地	東京都港区愛宕一丁目7-5		
	TEL	03-3433-2671		
事業所代表者氏名	江崎 美知子			
契約日	2016年 7月 7日			
利用者調査票配付日(実施日)	2016年 9月 1日			
利用者調査結果報告日	2016年 10月 26日			
自己評価の調査票配付日	2016年 9月 1日			
自己評価結果報告日	2016年 10月 26日			
訪問調査日	2016年 10月 31日			
評価合議日	2016年 11月 16日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	事前説明には、評価の理解を深めて頂く為、評価の全体像や具体例を用いた判りやすい資料を作成し、職員が可能な限り参加できる時間に職員説明会を実施しました。事業評価においては、自己評価の事実確認に徹し、第三者性の担保に配慮しました。また、利用者調査および事業評価の集計結果には、独自開発による集計シートを用い、グラフと表形式によるとりまとめを行いました。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

2016年 12月 26日

事業者代表者氏名 _____

印

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 共生 2) 共育て 3) 子どもの思いを共有する 4) 個性の尊重 5) 就労支援
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明朗闊達でチーム作りに長けている人。 ・積極的に仕事に向かう人。 <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれにビジョンを持ち、職員同士和して保育ができるような一人ひとりであってほしい。 ・弱者だからこそ、子どもの権利を尊重して保育をしてもらいたい。

調査対象	調査対象は、在園児の保護者全員を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答のご回答をいただきました。なお、利用者数は34世帯となっています。		
調査方法	園より保護者全員に調査票を配布して頂きました。回収については、評価機関へ郵送して頂くか、もしくは、園内に設置した回収ボックスに登降園時に投函して頂くようにしました。		
利用者総数	34		
共通評価項目による調査対象者数	34		
共通評価項目による調査の有効回答者数	29		
利用者総数に対する回答者割合(%)	85.3		

利用者調査全体のコメント

「現在利用している保育園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか」との質問に対して、「大変満足」75.9%、「満足」20.7%、「大変満足」と「満足」を合わせると96.6%の回答率となっており、園に対して多くの保護者が満足している状況が伺われます。対して、「どちらともいえない」3.4%、「不満」と「大変不満」は0.0%となっています。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	26	3	0	0
この項目では、26人が「はい」と答え、全体の89.7%を占め、「どちらともいえない」が10.3%、「いいえ」が0.0%という結果でした。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	24	4	1	0
この項目では、24人が「はい」と答え、全体の82.8%を占め、「どちらともいえない」が13.8%、「いいえ」が3.4%という結果でした。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	20	3	1	5
この項目では、20人が「はい」と答え、全体の69.0%を占め、「どちらともいえない」が10.3%、「いいえ」が3.4%、「無回答・非該当」が17.2%という結果でした。				

4. 安全対策が十分取られていると思うか	24	4	0	1
この項目では、24人が「はい」と答え、全体の82.8%を占め、「どちらともいえない」が13.8%、「いいえ」が0.0%、「無回答・非該当」が3.4%という結果でした。				
5. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	25	3	0	1
この項目では、25人が「はい」と答え、全体の86.2%を占め、「どちらともいえない」が10.3%、「いいえ」が0.0%、「無回答・非該当」が3.4%という結果でした。				
6. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	28	1	0	0
この項目では、28人が「はい」と答え、全体の96.6%を占め、「どちらともいえない」が3.4%、「いいえ」が0.0%という結果でした。				
7. 職員は保護者の考えを聞く姿勢があるか	28	1	0	0
この項目では、28人が「はい」と答え、全体の96.6%を占め、「どちらともいえない」が3.4%、「いいえ」が0.0%という結果でした。				
8. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	28	1	0	0
この項目では、28人が「はい」と答え、全体の96.6%を占め、「どちらともいえない」が3.4%、「いいえ」が0.0%という結果でした。				
9. 職員の接遇・態度は適切か	24	4	1	0
この項目では、24人が「はい」と答え、全体の82.8%を占め、「どちらともいえない」が13.8%、「いいえ」が3.4%という結果でした。				
10. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	25	4	0	0
この項目では、25人が「はい」と答え、全体の86.2%を占め、「どちらともいえない」が13.8%、「いいえ」が0.0%という結果でした。				

11. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	20	1	0	8
この項目では、20人が「はい」と答え、全体の69.0%を占め、「どちらともいえない」が3.4%、「いいえ」が0.0%、「無回答・非該当」が27.5%という結果でした。				
12. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	29	0	0	0
この項目では、29人全員が「はい」と答え、全体の100%を占めるという結果でした。				
13. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	23	2	1	3
この項目では、23人が「はい」と答え、全体の79.3%を占め、「どちらともいえない」が6.9%、「いいえ」が3.4%、「無回答・非該当」が10.3%という結果でした。				
14. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	28	0	1	0
この項目では、28人が「はい」と答え、全体の96.6%を占め、「どちらともいえない」が0.0%、「いいえ」が3.4%という結果でした。				
15. 利用者の不満や要望は対応されているか	29	0	0	0
この項目では、29人全員が「はい」と答え、全体の100%を占めるという結果でした。				
16. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	16	4	3	6
この項目では、16人が「はい」と答え、全体の55.2%を占め、「どちらともいえない」が13.8%、「いいえ」が10.3%、「無回答・非該当」が2.7%という結果でした。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
カテゴリ1		
1	リーダーシップと意思決定	
サブカテゴリ1(1-1)		
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況
		6/9
評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している		
評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている		
評点(●●)		
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		
評点(〇〇●)		
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えて いる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー1の講評

園内に理念や保育目標を明示して、職員がいつでも思い起こせるような工夫を期待します

園のホームページには保育目標など園が目指していることを明示しています。入園説明会の参加者に配布される「入園のしおり」にも理念や目標が記載されています。年度始めの職員会議で職員に理念の話をして理解を深めています。園舎内には玄関に児童福祉法や児童憲章は掲示されていますが理念や保育目標の掲示は無く、職員がいつでも思い起こせるように事務所内などに目立つ方法で掲示することが望まれます。

園長が期待する人材像の更なる浸透を期待します

園長は自らの役割を「保育環境を整えること、保護者が子供を預けてよかったと思えること、職員に仕事の楽しさを知ってもらえること」としながら園運営にあたっています。より良いチームワーク作りを期待して、新年度の会議をはじめ折に触れて職員に伝えています。しかし、職員アンケートにおいて職員間の協力体制や考え方の違いなどが改善すべき課題であるとの指摘が複数見受けられ、園長の求める人材像が職員全体に浸透していないことが窺えます。職員への伝え方をさらに工夫し、より深く理解を促していくことが期待されます。

案件の緊急性などに応じて決定手順が異なります

案件の緊急性や重要度により決定手順は異なります。クラス代表者会で検討後職員会議で決定する場合と職員会議で話し合い後クラス代表者に案件を持ち帰り再度職員会議で検討して決定する場合が通常ですが、緊急を要する時にはリーダー会で決定する場合もあります。会議の欠席者には会議録を回覧して周知しています。利用者には決定内容等を掲示して伝えていますが、契約期間の延長のような重要度の高い案件は利用者には「お知らせ」を個別配布して周知徹底しています。

2			カテゴリー2	
2			経営における社会的責任	
			サブカテゴリー1(2-1)	
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる			サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している		<input type="radio"/> 非該当	
			サブカテゴリー2(2-2)	
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている			サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	7/7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている		<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している			評点(〇〇〇)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている		<input type="radio"/> 非該当	
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている		<input type="radio"/> 非該当	

カテゴリー2の講評

職員の法令遵守はプライバシーポリシー等に明示されています

運営法人のプライバシーポリシーに法令等の遵守が明示されています。個人情報保護マニュアルには情報セキュリティに関する法令遵守が記載されています。玄関の目につきやすい場所には児童福祉法の条文が抜粋して掲示されています。職員には3月の職員会議で順法についての説明をして理解を深めています。苦情解決のために設置しています第三者委員が定期的に来園・視察して、外部の目による園の現状把握と状況報告をしています。ホームページに園の情報を開示して園の透明性に努めています。

地域との結びつきは弱いですが、徐々に地域から認知されつつあります

園の周辺はビジネス街で地域との繋がりは乏しいため、地域交流は散歩時の挨拶と見学者の受け入れなどに限定されています。園は地域の方々との関わりに積極的に対応し、園の理解につなげたい意向です。「笑いは大事」という法人の方針で定期的に落語会を開催して地域にも開放しています。町会から祭りへの誘いがあり地域から認知されつつありますが、園内行事を店舗など周辺の方々に伝えるなど交流の一層の促進が課題です。

ボランティアの受け入れには積極的に対応しています

ボランティアの受け入れについては、園長が担当者となり園は積極的に受け入れています。昨年度は中学生を8名受け入れました。絵本の読み聞かせや紙芝居などが主な活動内容でした。ただ、今年度はまだ受け入れ実績は皆無です。体験学習では大学生を2名受け入れました。受け入れ理由として、保育園の理解に役立つと園は考えています。関係機関とのネットワークについては、区内保育室12園の園長会に参加して、情報交換や新人指導など諸問題について話し合うなど連携を深めています。

カテゴリ-3		
3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用		
サブカテゴリ-1(3-1)		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/8
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる 評点(●●●)		
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-3の講評		
外部の相談先として、第三者委員が設置されています 利用者からの苦情や要望には園長が解決責任者となり対応しています。外部の苦情解決制度として、元議員など2名の第三者委員が置かれています。ただ、これまでは第三者委員の苦情解決制度の利用は皆無です。利用者の意向は各クラス年2回の保護者会で把握しています。送迎の折に保護者から子育ての悩みを受けることがあり、日頃の会話も意向などの把握の機会になっています。		
会話だけでなく匿名性の調査も併用して利用者の意向の把握に取り組むことを期待します 平成25年度に行事後の利用者アンケート調査を行いました。回収率は良好でしたが、以後は実施していません。園は保護者との関係が密のため、口頭で直接意見を収集するように変更しました。しかし、潜在的な意向の把握には会話だけでなく、アンケートなど匿名性の把握方法も併用することが望ましい。今回の第三者評価での利用者アンケートでは職員の言葉遣いに関する意見があり、園は職員に話し方の注意喚起をしてサービスの向上を図る必要性が認められます。		
地域の情報は利用者や園長会から収集・把握しています 地域情報の把握は園児の祖父母などから収集しています。園長会での情報交換も福祉ニーズ収集の貴重な情報源となっています。業界や行政の動向は業界新聞の切り抜きや専門誌の記事、区からの情報を掲示したり、職員会議で紹介して周知しています。新聞を購読していない職員もいるので、園長は卒先して切り抜きて情報提供しています。		

カテゴリ4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ1(4-1)		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 6/11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している 評点(○○●)		
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している 評点(○○●●)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる 評点(○○●●)		
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況 **4/4**

評価項目1
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ-4の講評

目標設定をして計画を策定しています
 期間限定の保育施設ですが、運営法人が中・長期計画を策定し目標設定をしています。年度単位の計画として指導計画では4期に分けて策定しています。年間指導計画は保育課程を踏まえて策定されています。短期の活動についても、年度始めの4月までに行事の内容と行事毎の担当者を決めて計画的に取り組んでいます。

計画は予め手順を決め、現場などの意向を踏まえて策定しています
 計画策定の手順は予め決められています。年度末の3月に職員から意見を聞くなど打ち合わせを行い、課題を検討します。年度始めの4月～5月に計画を決定します。園はボトムアップの保育園運営を基本として、現場の意向を反映できるように取り組んでいます。計画策定には保護者の要望や第三者委員の声も踏まえています。計画は概ね3ヶ月後に評価・検討して、当初の狙いに合致しているか等の観点から見直して計画を推進します。

消防や警察と連携して安全の確保に取り組んでいます
 防災担当者が年間計画を策定して安全管理に取り組んでいます。防災訓練を月1回以上と定めて実施しています。消防と連携してAED操作訓練を全職員が受講し、救急救命の資格取得や災害訓練を積極的に行っています。防犯や不審者対策では警察と連携して対応しています。事故対策ではヒヤリハット報告書を作成したり散歩での写真付の危険な場所マップを職員に配布しています。事故発生の場合には、職員会議で報告・共有して再発防止につなげるようにしています。感染症情報は掲示と口頭で保護者に伝えます。

カテゴリ-5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/8
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている 評点(○●●)		
評価	標準項目	
○ あり ● なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○ 非該当
○ あり ● なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○ 非該当
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる 評点(○●●●●)		
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○ 非該当
○ あり ● なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○ 非該当
○ あり ● なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	○ 非該当
○ あり ● なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	○ 非該当
○ あり ● なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○ 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/7
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる 評点(○○●)		
評価	標準項目	
○ あり ● なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○ 非該当

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(○○●●)

評価	標準項目	
○ あり ● なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○ 非該当
○ あり ● なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○ 非該当

カテゴリ5の講評

必要とされる保育士の人数は概ね確保されているように窥えます

園は積極的に仕事に向かう人、職員同士和して保育できる人を期待する人材像としています。人事制度は法人の就業規則等に明示されています。人材採用は法人と園が協働して行いますが、採用面談は園長に一任されています。職員アンケートからは、人手不足の意見はなく、必要とされる保育士の人数は概ね確保されているように窥えます。クラス担当の配置は職員の希望を優先しますが、経験など他の要素とのバランスと面談で決められています。

区の研修計画を基に研修計画が作成され、質の向上に取り組んでいます

園は職員の指導計画を作成しての能力向上に取り組んでいます。園は自己評価表を4期に分けて作成して、職員が記入後面談で一人ひとりの希望を確認しています。個人別の育成計画は区の研修計画を基に、経験年数等を考慮して作成されます。園長は職員の苦手分野の研修を受講するように誘導・要請しています。新人教育は3ヶ月間先輩職員が指導します。園内研修や法人の海外研修も行われています。研修参加者には勤務ローテーションに配慮するなどの支援をしています。研修成果は職員会議で共有しています。

職員間で保育の考え方に差があり、共通認識化するための更なる取り組みを期待します

人事考課は自己評価や面談を基に決められています。ただ、昇給や昇格などの評価・査定については、やや明確さに欠けるとの指摘もあり、更なる取り組みが望まれます。園は風通しの良い・働きやすい職場を目指しています。しかし、園の歴史が浅いなどで保育の考え方などは職員間で違いや差があるように窥えますので、共通認識を図る取り組みが今後の課題です。職員のメンタルヘルスは園長が様子を見て状況把握に努めています。音楽会やミュージカル鑑賞を行うなど福利厚生を充実して職員のやる気向上につなげるように取り組んでいます。

カテゴリー8

8 カテゴリー1～7に関する活動成果

サブカテゴリー1(8-1)

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」
 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」
 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

挨拶など地域への声かけをして地域交流に努めました

地域住民が少ない立地環境で、周囲の方々に挨拶など積極的に声かけて地域との繋がりを強く意識した活動を行い、地域からお祭りへの誘いを受けるなど交流を深めました。

サブカテゴリー2(8-2)

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

職員会議での意見交換が活発になりました

職員会議では職員からの意見が出やすいようにボトムアップ方式で議事を進めた結果、職員が議題を積極的に提案するなど活性化に繋がりました。

サブカテゴリー3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」
 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

体制の強化と職員の質的向上において成果を確認しています

保育士不足の解消に努め、各クラスを補佐する体制が整いました。また、基準を設けて接遇の向上に努めています。その成果として、職員の子どもに対する声掛けの仕方について、大きな声を出す場面が少なくなるなど、保育の質が変わっていることを確認しています。

サブカテゴリ-4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

経営的に努力し、資金繰りに余力を持たせています

省エネに努めコスト削減に繋がりました。法人本部からの資金支援で園運営の資金繰りは余裕が出来ました。

サブカテゴリ-5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している
・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

利用者からの直接の声に重点を置いて意向を把握しています

苦情など利用者の意向は会話から直接収集・把握して、サービスの向上に努めています。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリ1	
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	評点(〇〇〇〇)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している <input type="radio"/> 非該当
	サブカテゴリ1の講評	
	<p>園を紹介する独自のホームページを作成しています</p> <p>園を紹介する情報紙として、入園のしおりを抜粋した案内を作成し、園の概要を紹介しています。また、ホームページを作成しています。トップページに「一緒に子育てしていきましょう」とメッセージを掲げるとともに、「保育理念・保育目標・概要・一日の流れ・年間行事・給食」およびパスワードで保護された在園児保護者向けブログなどのコンテンツを設けています。ただし、更新は滞っており、過去の情報が掲載されたままとなっています。管理体制を確認し、内容の充実を図ることが期待されます。</p> <p>区統一の冊子やホームページにおいて、保育園の利用について案内しています</p> <p>公立保育園の基本情報は区で集約し、保育園の利用案内「保育園入園のご案内」を発行しています。また、区立認可園については各園が更新可能なホームページを設置し、園の概要(保育目標・デイリープログラム・子育て支援事業)や活動報告(特集・園だより)を掲載しています。ただし、緊急暫定保育室については、運営法人や施設に応じて提供しているサービスの内容が異なる状況であるのに対し、認可園と同等の基準で運営しているとしながらも同様の情報発信体制は整備されていないため、区との協議を深め、状況改善に努めることが期待されます。</p> <p>見学は随時受付し、小規模でアットホームな園であることをアピールしています</p> <p>見学は、個別の相談に応じて随時受け入れしています。見学者の対応は園長が担い、保育士の表情や子どもへの向き合い方を紹介しながら、「低年齢の子どもを対象とした小規模でアットホームな園であること」「個別対応を徹底している点」「排泄後にはシャワーで体を洗い、衛生的に過ごせるよう配慮している点」などについて説明しています。なお、園では「見学後には落ち着いて質問を受けたり相談にのれるようなスペースを設けたほうが望ましい」と設備面での課題を捉えています。</p>	
	サブカテゴリ2	
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
	評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている	評点(〇〇〇)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している <input type="radio"/> 非該当

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2の講評

入園前の面接や説明会、および入園のしおりでサービスについて説明しています
 入園内定者に対しては、4月入所者の場合、3月中旬に個別面談および入園説明会を実施しています。説明に際しては、「入園のしおり」を用いてサービス概要・保育課程・利用上の決まりや行事・家庭連絡・服装・与薬などの細則を説明しています。説明した内容については、書面へのサインにより同意確認を得ています。なお、利用者の安心感を高めることを目的として次年度より入園説明会で映像や写真を用いた説明を行うことを検討しています。

入園当初は1週間程度を目安として慣れ保育期間を設けています
 入園時の子どもや家庭の様子は、入園面接を通じて面接表や児童票を作成し、健康状態や生活リズムを把握しています。また、3日から1週間程度を目安として「慣れ保育」を実施しています。子ども一人ひとりのペースに応じてより丁寧に接することができるようにするとともに、個人マークを設けて自分の持ち物やスペースが確認しやすい環境となるようにしています。保護者の意向も柔軟に受け止め、希望に応じて冷凍母乳の預かりも行っていきます。

退園後も園行事の案内を届け、コミュニケーションの継続を図っています
 退園時には、在籍していたクラスが中心になって作成したメッセージ入りアルバムをプレゼントし、気持ちよく送り出しています。また、引き続き園行事の案内を届け、コミュニケーションの継続を図っています。一方、子どもへの支援が継続されるよう、相手が区立園である場合に限り、転園先に申し送り表を提供しています。

サブカテゴリー3

3	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	12/12
---	-----------------	-----------------------	-------

評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している		評点(00000)
---	--	------------------

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 計画を保護者にわかりやすく説明している	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	○ 非該当
● あり ○ なし	5. 計画を緊急に変更する場合のしきみを整備している	○ 非該当

評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(00)
---	--	---------------

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしきみがある	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○ 非該当

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(00)
---	--	---------------

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○ 非該当

サブカテゴリー3の講評

保育方針について保育過程で示し、入園のしおりや保護者会を通じて説明しています
 保育方針について、入園のしおりに保育課程を綴じ込み、保育の全体像を紹介しています。入園後の保護者会でも、子どもの発達状態に応じて策定した保育目標や年間指導計画の要点を説明しています。また、保育支援ソフトを導入しながらクラス単位で年間・期・月・2週間の各単位で指導計画を具体化するとともに、乳児を対象に個別計画も作成しています。

日々の保育内容は保育日誌と兼用となる複写式の連絡帳に記録しています
 子どものエピソードや成長の記録について、保育日誌と兼用となる複写式の連絡帳や指導計画の反省欄等に記録するとともに、児童票に集約しています。具体的な評価や反省は、保育支援ソフトの活用やコンサルティング会社の支援により評価や記録の視点を確認しつつ、クラス会議で話し合っています。

朝の連絡会やクラス代表者会を行うことにより子どもに関する情報の共有に努めています
 子どもに関する情報について、毎朝行う連絡会や毎週行うクラス代表者会を行うことにより共有に努めています。また、月例で行っている職員会議で全職員が参加して保育の課題や指導計画について検討しています。会議内容はクラス代表者がノートに書き、その記録を閲覧したり掲示したりすることで参加していない職員に対しても周知を図っています。なお、朝の連絡会資料は回覧し、名前欄にチェックすることで既読状況を確認できるようにしています。

サブカテゴリー5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 7/7
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー5の講評		
<p>個人情報は法人規則に沿って管理し、情報提供については保護者の同意を得ています 個人情報の取り扱い方針は、法人の規定およびマニュアルに沿うこととし、利用者からは「個人情報使用同意書」や「写真データの提供に関する同意書兼委任状」により確認を得ています。園内の管理体制について、個人情報が外部に漏れることがないように職員の理解を促しつつ、児童票などの重要書類は鍵のかかるロッカーに保管しています。なお、「保育園や子どもがメディア等の取材を受けることについて」は区の指示に従って対応することとしています。</p> <p>子どもの羞恥心や人権を意識して保育環境や職員の言葉遣いを振り返っています 子どもの羞恥心に配慮した取り組みとして、水遊び・プール遊びの着脱に際して外部からの視線を遮るようになるとともに、子ども自身にプライベートゾーンを意識できるよう働きかけています。また、乳児であってもおむつ交換に際して他児の視覚に入らないようシャワーカーテンを取り付けるなど工夫しています。また、人権への配慮として、職員は園で示した保育指導基準に照らし合わせて自らの保育を振り返ることができるようにするとともに、NG用語集を作成して不適切な声掛けがないように努めています。</p> <p>育児の課題には子ども家庭支援センターや保健所等の関係機関と連携して対応しています 虐待に関する取り組みは、区のマニュアルに沿って虐待の早期発見や発見時の対応手順を確認しています。また、区の研修に職員が参加するとともに、必要に応じて園内研修を実施して理解を深めています。虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときは、区の仕組みに沿って、子ども家庭支援センターや保健所等の関係機関と連携して対応しています。ただし、園内に個別の相談スペースがなく、環境について改善していきたいとしています。</p>		

サブカテゴリ-6

6 事業所業務の標準化

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

7/11

評価項目1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(○●●)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(○●●)

評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(○○○○○)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ6の講評

港区の作成したマニュアルや法人内共通の保育課程を基準に運営にあたっています

保育・保健・給食など基本的事項はマニュアルに沿っており、マニュアルの内容は公立園長会で見直しを行っています。また、各種マニュアルはキャビネットの中に保管して必要な項目をコピーして職員に配布しています。保育実践の内容について、保育課程は法人のものを基本としつつ地域のニーズに応じて手を加えて園のものとしていますが、そもそも法人本部のある石下保育園の具体的な保育実践に精通する保育職員はならず、職員の自己評価結果からも具体的な保育イメージが共有されていない状況がうかがえます。

クラスリーダーによるOJTを中心とした職員育成にあたっています

職員の学びは港区主催の研修等に職員を派遣したり、園内では各クラスでリーダー制をとってわからないことがあった場合は先輩や園長に相談できるようにしています。年3回以上、園長と面談する機会も設けています。また、法人内研修は首都圏に展開している園が合同で行っています。一方、園内の保育体制について、「日々の保育で実践的に学んで欲しい」という意図のもと、施設長を除く全職員がクラス担任になっています。そのため、園長を補佐して職員全体を掌握する位置づけの職員を配置していません。

保育士の自己評価票を園で独自に作成し、保育実践の振り返りに向けて活用しています

保育実践の振り返りについて、保育士の自己評価票を園で独自に作成し、活用を進めています。5区分52項目一年を四半期に分け、また2年間連続して自己評価できるようにしている使用になっています。各設問を補足する「具体的な内容」欄には園独自の実践内容が説明されており、職員の理解を深めるものとなっています。ただし、このような実践を促すための準備段階として、設問に応じた園独自のマニュアルや研修が先に必要となります。今後は、あらかじめ職員が学びを深めるための仕組みを充実させることが期待されます。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

サブカテゴリ4

サービスの実施項目

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

33/37

1 評価項目1

子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている

評点(○○○○●)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけることができるよう、環境構成を工夫している	○ 非該当
○ あり ● なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助している	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○ 非該当
● あり ○ なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○ 非該当

評価項目1の講評

乳児クラスでは天井にも子どもが遊べる演出を施しています

子どもの成長を評価する視点や基準は保育課程や指導計画等によって示しています。その上で、保育室には、季節や成長に合わせて生活や遊びのコーナーを設定しています。2歳児クラスになるとコーナー設定を具体化するとともに、3歳児クラスでは自分たちで作った衝立を用いて主体的に環境を構成できるようにしています。また、限られた空間を豊かに活用する工夫とし、0歳児室では天蓋や風船を入れたネットなどを天井に施したり、1歳児室でもモビールを垂らしています。

行事や合同保育時間帯において異年齢の子どもと一緒に過ごす環境を設けています

異年齢交流の機会として、朝夕および土曜日に異年齢が合同で生活しているほか、行事等の場面ではクラスの枠を超えて交流しています。ただし、これは概ね保育室一般において確認できる取り組みであり、異年齢交流により保育の利点を高めるための積極的な意図を確認できませんでした。異文化交流の機会についても同様に、取り組むべき使命や効果を確認し、乳児にそった環境やプログラムを設けることが期待されます。

専門性を確保した上で特別な支援を要する子どもを受け入れ、統合保育を実施しています

統合保育を実践し、区の規定に沿って特別な支援を要する子どもを受け入れています。特別な支援が必要な子どもの保育に際して、クラス会議で職員の理解を深めるとともに、区の障害福祉センターや子ども家庭支援センター等の専門施設とも連携し、巡回指導を受けながら専門性を確保できるようにしています。保育環境についても、職員を加配しながら個別に配慮しています。

2 評価項目2

家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている

評点(○○○○)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○ 非該当
● あり ○ なし	4. お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○ 非該当

評価項目2の講評

園生活の様子は連絡帳や貼り出し日誌を用いて伝えています

保護者とは、日常的には登降園時のコミュニケーションや連絡帳の活用を通じて、子どもの情報共有に努めています。また、各クラスの貼り出し日誌「今日の遊び」を玄関に集中掲示し、年齢に沿った活動内容を連続的に見通せるようにしています。この貼り出し日誌は、写真を活用するなど見やすさを工夫したものとなっています。また、園だよりの発行や保護者会の説明において、子どもの成長の段階と支援の方法を説明しています。

家庭のしつけと歩調を合わせて生活習慣が身につくよう指導しています

食事・排せつなどの基本的な生活習慣を身につけるための支援について、保育課程に掲げられた発達過程を目安として、指導計画に沿って指導にあたっています。支援の時期や手法は保育所保育指針の理解に沿ったものとして確認していますが、指導のタイミングは家庭と歩調を合わせることを理念として掲げています。おおむね3歳になる時期を目安に、おむつが外れている状態になり、また箸の指導を開始するなど、自分の身の回りのことができるようになることを目指して支援しています。

乳児を中心に預かる園であり、生活リズムも個別のペースに寄り添うようにしています

乳児を中心に預かる園であり、定員規模の小さいアットホームな園であるため、生活リズムも個別のペースに寄り添うようにしています。ホームページに掲載のデイリープログラムを見ると1・2歳児クラスは「午睡」で3歳児クラスでは「休息」という表記になっていますが、3歳児からの午睡は希望性で行っているということです。ただし、個別対応を重視するあまり、園として考える生活リズムのあるべき姿が見えなくなっています。保育の専門的な視点から基本的な考え方を説明することが期待されます。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3の講評

保育課程に示された発達過程に沿って保育目標の達成を目指しています

園の保育目標を「心も体も元気な子ども／思いやりのある子ども／のびのびと表現できる子ども」としています。このような視点において保育課程および年間指導計画を立て、園全体で考え方を共有しながら子どもの育ちを支援しています。保育目標の達成に向けた具体的な取り組みとして、業務支援ソフトを導入しながら子どもの発達を科学的に捉えている点を特色として位置付けています。また、1・2歳児クラスで混合保育を取り入れると記載している点については、実績に応じて見直すことが望まれます。

近隣に広く自然が豊かな公園があり、毎日のように散歩に出かけています

本園は都心に位置しており、園の敷地内で遊べるスペースは玄関前の広場に限られています。倉庫にはコンビカーなどがあり、夏場はプールを設定しています。砂場遊びは近隣の保育園に遊びに行く機会を設けています。また、芝公園が近隣にあるため、条件が整えば毎日でも散歩に出かけ、木の実拾いをするなど、地域や自然にふれて子どもの興味関心を引き出しています。3歳になると日比谷公園まで出かけることもあります。

4 評価項目4 行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 保育所の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○ 非該当

評価項目4の講評

乳児中心の園であり、親子参加で楽しめる行事を企画しています

主な行事として「新入進級祝い会・こどもの日祝い会・フェスタ愛宕っ子・愛宕っ子ラリー・おたのしみ会・節分会・ひなまつり・さよならの会」等を行い、様々な体験の機会としています。また、子どもの誕生日当日に各クラスで「お誕生日会」を行っています。なお、保護者参加の行事は「フェスタ愛宕っ子・愛宕っ子ラリー」等となっています。行事アンケートは平成25年度を最後に実施していません。乳児園であり、運動会などの成長を発表する場面設定よりも親子で楽しむ機会を充実させることに重点を置いています。

地域の親子や中学生のボランティアを受け入れ、ふれあいの機会としています

子どもが職員以外の人に接する機会として、地域の親子や近隣の保育園児を招待しながら、理事長の方針で「落語会」を催しています。また、夏季にはボランティアセンターを通じて体験ボランティアを受け入れしたり、近隣の中学校の生徒による読み聞かせのボランティアも年に1回程度受け入れています。なお、3歳児クラスの子どもの数が5人しかおらず、同年齢の子どもとふれあう機会を創出したいと考えています。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるよう配慮をしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 子どもの様子を確実な方法により職員間で引き継いでいる	○ 非該当
● あり ○ なし	4. お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている	○ 非該当

評価項目5の講評

環境を工夫して子どもの遊び場やくつろげる環境を工夫しています

安心して過ごせる室内環境作りに向けて、全体がフローリングのためにマットを敷きくつろげる工夫をしています。また、玄関にも長椅子を置いたり、場面に応じて廊下にも遊びの環境を作るなど、園内全体を使って遊び場を確保しています。さらに、延長保育時や土曜日には異年齢の子どもを合同で保育するため、個々に合った玩具を揃えています。

事故や怪我がある時は、担当職員が待機して直接保護者に伝えるようにしています

保護者とは、日常的には登降園時のコミュニケーションや連絡帳の活用を通じて、子どもの情報共有に努めています。また、各クラスの貼り出し日誌「今日の遊び」を玄関に集中掲示し、年齢に沿った活動内容を連続的に見通せるようにしています。この貼り出し日誌は、写真を活用するなど見やすさを工夫したものとなっています。また、園だよりの発行や保護者会の説明において、子どもの成長の段階と支援の方法を説明しています。なお、事故や怪我がある時は、園長・担任・看護師等が待機し直接保護者に伝えるようにしています。

6 評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目6の講評

献立は区に沿ったものとしつつ、誕生会や他の行事では独自の献立を採用しています

食事環境について、食器は磁器製のものを使用し、安全性に配慮しています。テーブルやイス等は子どもの成長に合わせたものを使用しています。また、給食は区の献立に沿って調理・配膳していますが、誕生会や他の行事では独自の献立を採用しています。なお、保護者には給食の内容は献立表・給食だより(区の仕様による)の提供・給食展示・食材の産地表示により報告するとともに、試食会を設けています。

行事食や会食での配膳方法など、子どもが食事を楽しむ工夫をしています

食事を楽しむ環境として、誕生会ではピアノで演奏しながら「お化けのハンバーグ」などの献立を用意しています。また、年度末に会食を開き、バイキングスタイルで一人ひとり声をかけながら食事を盛り付けしています。さらに、3歳児クラスではクッキングを実施し、栄養士と一緒にシュガートーストを作ったり、さんまに触れて目の色や肌触りを伝える機会を設けています。保護者には「ぱくぱくだより」を発行して理解を得られるようにしています。

アレルギー児や乳児への対応は、安全確認や個別配慮を徹底しています

アレルギー児への配慮や対応に関する事項は、区のマニュアルに則しています。個々の食事の調整は、食品除去の情報提供に基づき除去食や代替食で対応し、朝礼時・調理時・配膳時など複数の職員で多重確認を行い細心の注意を払って誤食防止に努めています。宗教上の配慮も同様に行っています。一方、乳児への対応は、子どもの状況や成長を連絡帳や離乳食進行表などで確認しつつ、個別の体調に合わせて調理方法を調整しています。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づく支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目7の講評

防災訓練の実施や園内の環境保全により子どもの安全を守っています

子どもの健康や安全に対する意識を高める取り組みとして、3歳児クラス以下の子どもが理解できる範囲で、毎月の防災訓練を実施しています。また、保護者には保健だよりの発行を通じて、健康管理に役立つ情報を季節に応じて提供しています。子どもの身体発達の状況は健康カードに記録し、毎月保護者に提示してサインを得ながら確認を得ています。職員は、救命法の講習を受けるとともに、日頃から危険に対する気づきがあれば報告する仕組みも設けています。

園医との協力体制を築きながら、看護師を中心とした体制を整えています

園内の医療的ケアは、園医との協力体制を築きながら、看護師を中心とした体制を整えて対応しています。また、保健行事として「定期健康診断・身体測定・歯科検診・ぎょう虫検査、視力検査、尿検査」等を実施しています。与薬は、心臓や肝臓などの慢性疾患・アレルギー・アトピー・熱性痙攣等の症状に限り、医師の作成した与薬依頼書に基づいて引き受けています。なお、看護師は区の看護師会に参加し、子どもの健康管理の質を保っています。

SIDS対策や感染症予防に向けた仕組みを整えつつ、保護者にも情報を提供しています

SIDS対策として午睡時の観察を0歳児は5分毎に、1歳児は10分毎に、体位や呼吸を確認しています。また、感染症予防に向けて朝夕の園内消毒に努めています。感染症流行時には、区や国立感染症研究所から最新の情報を仕入れるとともに、掲示物で保護者にも注意喚起しています。

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇●)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して接している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	4. 保育所の保育に関して、保護者の考えや提案を聴く機会を設け反映させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目8の講評

透明性の高い運営を心がけ、保育の様子はいつでも見られるようにしています

保護者の就労状況や価値観について児童票や個別の記録で把握するとともに、急な利用時間の変更に柔軟に対応しています。また、保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みとして、日頃から丁寧なコミュニケーションに努めるとともに、貼り出し日誌に積極的に写真を掲載しています。併せて、連絡帳を取り交わす中で個別に子どもの様子を伝えています。さらに、年3回の保護者会ではビデオ上映も行いながら園生活の様子を伝えています。保育参観は常時受け付けし、保育の可視化を進めています。

日頃からのコミュニケーションを丁寧に図り、保護者との信頼関係を築いています

小規模園のメリットとして、送迎時のコミュニケーションが図りやすくなっています。その成果として、本評価に伴う利用者調査の結果、全体満足度で「大変満足」と回答した世帯の割合は75.9%となっています。その他の個別設問でも職員の対応に関する項目は満足度が高いことが確認されました。ただし、園内に個別対応が可能なスペースがないことを一因として、個別面談の機会を設けていません。主体的な利用者調査も実施しておらず、少数の意見を吸い上げる仕組みについては充実を図ることが期待されます。

9 評価項目9

地域のニーズに即した子育て支援を実施している

評点(○●●)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域における在宅子育て家庭のニーズに応じた子育て支援事業を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目9の講評

夏祭りや落語会で園を地域に開放したり、近隣の保育園児を招待しています

保育室は、港区との契約において地域子育て支援機能を発揮することは特に求められていません。同園には相談専用のスペースもなく、常時地域の方を受け入れられる環境もありません。しかしながら、本園では主体的な判断により積極的に地域ニーズに寄り添っていくことを望んでいます。夏祭りやプロ落語家による落語会を催す際は、園を地域に開放したり、近隣の保育園児を招待しています。また、来園者が子育て支援事業に関するパンフレットを自由に手に取ることができるよう、玄関脇パンフレット入れを設置しています。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル①	家庭と保育園が子育てをし喜びを共有し、楽しい子育てをしていくことを目指しています	
内容①	法人の保育方針を「一緒に子育てをしていきましょう」と掲げ、家庭と保育園が子育てをし喜びを共有し、楽しい子育てをしていくことを目指しています。その方針に沿って、小規模園の利点として送迎時の保護者対応を手厚くしています。また、生活習慣の自律に向けた支援の方法も、支援の時期や手法は保育所保育指針の理解に沿ったものとして確認していますが、指導のタイミングは家庭と歩調を合わせるようにしています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-6-2	サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている
タイトル②	職員集団が日々研鑽し、資質向上に繋げていくことを重視しています	
内容②	まだ新しい園であり、職員の着実な育成を図っています。「風通しの良い職場づくりをおこなうことで、そこで働く保育士集団が澁刺としていることが、望ましい「人的環境」として、子どもたちに良い影響をもたらす」と考え、職員のチームワークがよりよくなるように努めています。そして、職員一人ひとりが自分で考える力をもつことを支援しています。職員集団が日々研鑽し、資質向上に繋げていくことを重視しています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	2-1-2	第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている
タイトル③	保育の透明性を高めるために、在園児保護者および一般の方への情報発信に努めています	
内容③	利用者に対する保育内容の報告方法について、貼り出し日誌に積極的に写真を掲載しています。併せて、連絡帳を取り交わす中で個別に子どもの様子を伝えています。さらに、年3回の保護者会ではビデオ上映も行いながら園生活の様子を伝えています。保育参観は常時受け付けしています。また、一般に対しては、ホームページを作成して「一緒に子育てをしていきましょう」とメッセージを掲げるとともに、「保育理念・保育目標・概要・一日の流れ・年間行事・給食」等を説明しています。このように、保育の可視化や情報開示に努めています。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	少人数の定員に加えて職員の体制に余力があり、園の強みになっています
	内容	園は0歳児から3歳児までの定員47名の少人数の保育園です。職員の状況は常勤が約9割で、公立園に比べ常勤職員の比率は概ね高い状況です。保育体制も充足させて「園児一人ひとりに寄り添った保育」や「家族のニーズに合わせた保育」を取り入れており、職員アンケートにおいて好意的な意見が見受けられました。そのような事実を背景として、少人数保育園の強みや利点が保育に生かされているように感じられます。
2	タイトル	食育活動に積極的に取り組み、クッキングやバイキング形式での配膳も体験しています
	内容	3歳児クラスまでの園ですが、食育活動に積極的に取り組んでいます。3歳クラスでは栄養士が指導を担当しながらクッキングを実施し、シュガートースト等を作る体験をしています。さんまに素手で触れ、目の色や肌触りを伝える機会も設けています。また、年度末の会食会ではバイキング方式で配膳する機会も設け、一人ひとりに声掛けしながら日頃と違う雰囲気を楽しんでいます。さらに、誕生日会では独自の献立を用意し、お化けのハンバーグなど楽しいメニューで食事を提供するなど、おいしく食事できるよう支援しています。
3	タイトル	地域への貢献度を高めつつ、将来的に認可保育所に発展していくことを目指しています
	内容	保育室は、港区との契約において地域子育て支援機能を発揮することは特に求められていません。しかしながら、本園では主体的な判断により積極的に地域ニーズに寄り添っていくことを望んでいます。夏祭りやプロ落語家による落語会を催す際は、園を地域に開放したり、近隣の保育園児を招待しています。また、園が地域へ浸透していくことの延長線上に認可園化を図りたい考えも持っており、事業の発展も見据えた取り組みともなっており、そのような意欲的な取り組みが高く評価されます。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	法人としての保育方針と意思決定手順をより明確にし、組織的に理解の普及を図ることが期待されます
	内容	保育の実践方針について、運営法人の本部がある石下保育園の保育理念をモデルにするとともに、石下保育園のリーダー職員を派遣して直接新任に伝えていく仕組みを設けることが望まれます。他方で、首都圏におけるニーズに応じた保育を展開するという判断があるのだとすれば、その判断の根拠と意思決定のプロセスを組織的に規定することが望まれます。いずれの場合でも、結論だけではなく経験や判断のプロセスを示すことが新任職員の理解を深めることにつながると理解し、採用時の研修でその方針を具体的に説明することが期待されます。
2	タイトル	法人としてキャリアパスを策定し、長期的な視点で人材の育成を図る仕組みを明示することが期待されます
	内容	都外に法人の本部がありますが、運営面での積極的なサポートや運動性が見受けられません。関東地域に複数園を展開している状況ですが、愛宕保育室がその取りまとめを担っている状況であり、特に保育士の採用や研修についても園長がその役を担っています。ただし、人材の採用と育成の方針は組織化されておらず、キャリアパスの策定や人事考課制度の導入も図られていません。今後は保育の質を捉える基準を法人として設定し、中長期の計画においてキャリア支援に係る重点事項を明示していくことが期待されます。
3	タイトル	職員間で保育の考え方について違いがあるため、話し合いや学びの機会を充実させて理解の共有を図ることが必要です
	内容	職員のチームワークを高めるために、風通しの良い職場作りや意見出しやすい雰囲気作りに取り組んでいます。職員会議では、ボトムアップ方式で意見交換が活発に行われるようになるなどの成果も見られます。ただし、保育の考え方やチームワークなど職員間の人間関係については、職員間で認識の違いが見られるなどの課題があるように窺えます。園内研修の充実を図るとともに、他園での実習を通じて保育の考え方が多様であることを学ぶ機会が設けられることを期待します。